

都市整備部 部長マニフェスト

私の思い

都市整備部長 山本 佳裕

柏原市の道路、橋りょう等の社会資本は、高度経済成長期に整備されたものが多いことから、これからは維持管理や更新に大幅な予算増加が懸念されます。

今後の社会資本の整備においては、「つくる」視点から、現在の施設を長期にわたり有効活用する「生かす」視点へ、転換が重要となってきます。

都市整備部では、既存ストックの有効活用を基本としながら、市民が安全に安心して暮らすことができ、災害に強いまちづくりを実現するため、道路、橋りょう等の計画的な維持補修や長寿命化の取組を行い、暮らしに密着した道路、公園、河川等の生活基盤施設の整備も行い、交通安全意識の高揚を図るなど、やすらぎ、ゆとりなど市民の視点に立った、市民との協働によるまちづくりの推進を図ります。



重点目標

- ① 効果的・効率的な道路整備と維持管理の推進
- ② 交通安全対策の推進
- ③ 安全で快適な公園・広場等の確保

部の施策概要

☆道路の整備と維持・管理

- ・市道の整備について、交通バリアフリー基本構想に基づく歩道の整備と市道の拡幅などを推進する。
- ・広域交通網の整備については、市の骨格的道路として必要な都市計画道路の整備を進め、渋滞緩和を図る交通需要マネジメント（TDM 施策）も合わせて推進する。
- ・道路や橋りょうの効果的・効率的な維持修繕を行うための「修繕計画」を策定する。
- ・河川や水路が市街化に伴い生活排水路となっているため、水路の維持管理や環境維持に努め、生活環境の向上を図る。



重点目標 ① 効果的・効率的な道路整備と維持管理の推進

☆交通安全対策と放置自転車ゼロ

- ・交通安全対策として、キャンペーンや講習会を実施することにより、交通安全教育の充実を図り、安全意識高揚に努める。また、街路指導等による放置自転車ゼロを目標として、交通環境改善に向け監視箇所の重点化に取り組み、交通安全施設のハード整備にも即応して安心・安全なまちづくりを推進する。



重点目標 ② 交通安全対策の推進

☆安全で快適な公園提供と環境の保全

- ・公園、広場、緑地などの計画整備ならびに維持管理、市街地における緑化推進、また山間部の緑地保全のための土砂等による埋立て等の規制に関する業務をとおして、安全で快適な公園等の提供や環境の保全を行うことを目指します。

「大和川親水公園」「国分市場緑地広場」をはじめとした、既存の公園等をより快適なものとするため、施設の安全点検や維持補修を行うとともに、巡視や草抜き等の軽微な作業について市民協働をお願いし、利用者の皆様に愛着を持っていただき、誰もが親しみの持てる公園づくりに取り組みます。



重点目標 ③ 安全で快適な公園・広場等の確保

効果的・効率的な道路整備と維持管理の推進

戦略課題の目標

誰もが安全で安心して移動できる歩道を増やすとともに、道路の拡幅により車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図るため、ハード・ソフト両面の取組を行う。

また、日常の道路の維持管理については、点検パトロール強化やより多くの市民との協働により、安全の確保や利便性の向上と美化活動にも取り組む。

施策推進上の目標

- ・ 雁多尾畑地区の交通安全と農業振興を目的に、昨年度に引き続き道路整備を実施する。
- ・ 狭小な道路の改良や交通安全事業など部分的改良や歩道設置を行い、道路環境の改善や通行性の向上を図る。
- ・ 予防的な修繕や計画的な補修により安心して円滑な交通を確保するため効果的、効果的な維持管理を行う。
- ・ 近鉄河内国分駅周辺の国道 25 号、165 号の渋滞緩和を図るため、市の骨格道路である都市計画道路の整備を進め、合わせて国土交通省、大阪府と連携し渋滞対策について協議を進める。

アウトプット

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| ・ 市道畑信貴線整備工事 | L=200m |
| ・ 片山 8 号線歩道設置工事 | L=70m |
| ・ 田辺旭ヶ丘線道路整備事業 | 用地購入 A=73.47 m ² |
| ・ 近鉄大阪教育大前駅バリアフリー化事業 | 測量設計 1 式 |
| ・ 道路橋りょう長寿命化計画策定 | 1 式 |
| ・ 道路舗装修繕計画策定 | 1 式 |
| ・ 道路附属物点検及び計画策定 | 1 式 |

アウトカム

- 市道畑信貴線整備工事の道路拡幅によって、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産（輸送力）の向上が図れる。
- 交通量の多い歩車共存道路のうち、通学路に指定されている市道片山 8 号 線で歩道整備を行うことで歩行者の安全が確保できる。
- 道路舗装面や道路附属物の総点検を行い、事後的な補修から計画的な補修に切り替え適正な維持管理が図れる。
- 近鉄河内国分駅周辺の渋滞緩和対策として事業を進捗させている、都市計画道路田辺旭ヶ丘線整備の用地取得進捗が図れる。

交通安全対策の推進

戦略課題の目標

交通安全施設の整備や適切な管理を行うとともに、放置自転車等を減らし、車両や歩行者の安全を確保して、市民が安心できるよう交通環境の向上を図ります。また、警察・交通安全協会と連携し、交通ルールの遵守を呼びかけて、交通安全意識の高揚を図り交通事故防止に努める。

施策推進上の目標

- JR 柏原駅周辺の自転車等放置禁止区域内での、自転車放置ゼロを目指す。特に、休日の放置防止を強化する。
- 交通安全キャンペーン等、啓発活動を強化し、交通安全意識高揚を図る。
- 交通安全施設の整備を行い、交通環境改善に努める。

アウトプット

- JR 柏原駅周辺の放置自転車防止強化のため、休日の啓発活動及び街路指導を実施する。
- 交通安全キャンペーン等の啓発活動を実施する。
- カーブミラー、防護柵等の安全施設の整備・点検を実施し、問題のある箇所は早急に対処し、交通環境の改善に努める。

アウトカム

交通安全施設の適切な管理や交通安全キャンペーン等で交通安全意識を高めて、交通事故の発生を防ぐことにより、市民が安心できる交通環境が確保される。

放置自転車等への警告札貼付枚数:5,000 枚以下

交通安全キャンペーン等の啓発活動を実施回数：30 回以上

安全で快適な公園・広場等の確保

戦略課題の目標

日常的な巡視や、草抜きゴミ拾いなどの軽易な作業について、地域住民による協働をお願いし、より安全で快適な公園等を確保する。

施策推進上の目標

市民との協働をより円滑に有効的に進めるため、地域との協議・連携を強化する。

アウトプット

市民協働で維持管理する公園・広場等の箇所割合を60%とする。

アウトカム

公園・広場等の管理等に地元住民が携わることにより、きめ細やかな維持管理を行うことが可能となり、また、地域住民の公園等に対する関心も高められるとともに、利用形態などについても自主性をもって取り組んでいただけるようになる。